

# おおさか

まなびやの

宝



進めることを目的に2009年に設立された。3大学による単位互換制度やインターネットを利用した双方向講義などさまざまな取り組みを続けている。

社会貢献活動として

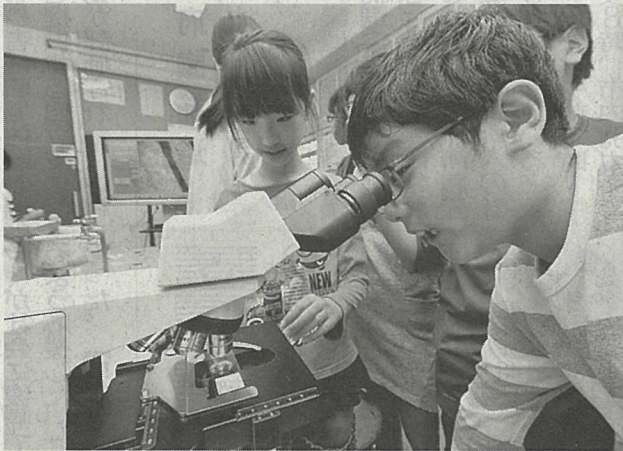
大阪医科大、関西大、大阪薬科大でつくる「三大学理工薬連環科学教育研究機構」が、高槻市内の小中学校を対象に、理科実験の面白さを伝える出前授業を行っている。

同機構は、医学、工学、薬学の3分野を融合した研究を大学間で

授業を開催。関西大化

は、「超音波」や「筋肉の動き」などをテーマにした出前授業を医科大と薬科大がある高槻市の小中学校で実施してきた。10月17日には、市立奥坂小(同市別所本町)で、「光学顕微鏡を使った生物の観察」と題した出前

## 理科実験の出前授業



顕微鏡で動物の組織などの観察をする小学生ら  
—高槻市別所本町の市立奥坂小で(高槻市提供)

## 大医、関大、大薬が連携

学生命工学部の熊谷彩子特任助教を講師に、5年生82人が参加した。

児童たちは校庭で集めた葉っぱや大学で保存しているソウリムシ、犬の毛などを顕微鏡で観察。「こんなに

くっきの葉脈が見えるんだ」「顕微鏡で見ると(組織の形が)想像と違う」などと、肉眼では見えないミクロの世界に驚きの声を上げた。授業に参加した足

田小百合さん(10)は「今回の授業で出てこなかった他の微生物や動物の組織は、顕微鏡で見るとどう見えるのか気になった。理科がもっと好きになった」と笑顔を見せた。

講師役の熊谷助教は「子どもたちの理科離れが起きている原因の一つに、学校で実験をする機会が少ないということがある」と指摘。「理科に興味を持つきっかけになってもらえらるように、今後も楽しい出前授業を考えていきたい」と話した。

ミクロの世界に驚き

【加藤佑輔】